

2010年3月期 第2四半期決算説明会

業績レビューと今後の重点施策

2009年11月10日

タカラバイオ(株) 社長 仲尾 功一

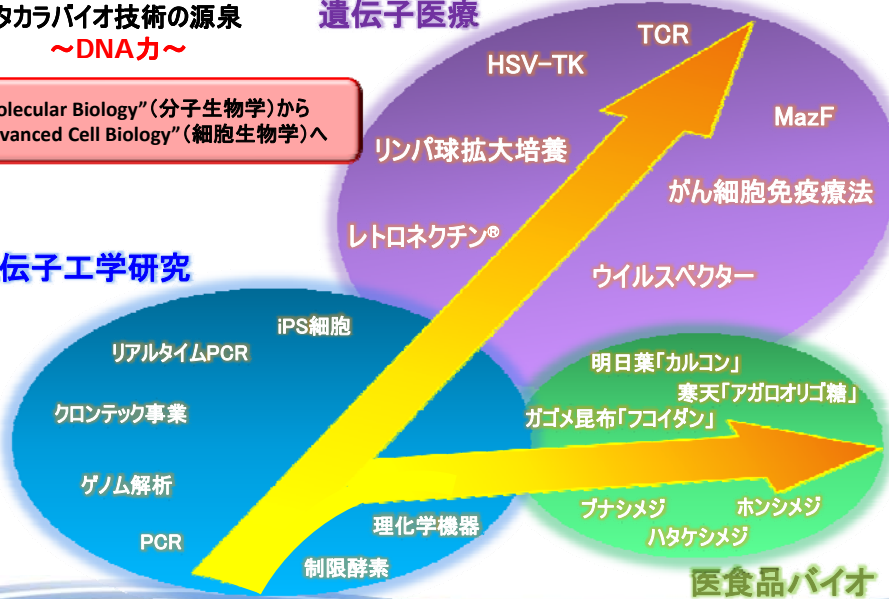
タカラバイオグループの基本戦略

タカラバイオ技術の源泉
～DNAカ～

遺伝子医療

“Molecular Biology” (分子生物学) から
“Advanced Cell Biology” (細胞生物学) へ

遺伝子工学研究



10/03期 第2四半期 売上高(連結)

	2009年 4-9月	期初予算比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
研究用試薬	5,192	+170	+3.4%	▲ 438	▲7.8%
理化学機器	1,224	+181	+17.4%	+77	+6.8%
受託その他	1,124	+98	+9.6%	+5	+0.5%
遺伝子工学研究計	7,542	+450	+6.4%	▲ 354	▲4.5%
遺伝子医療	165	+15	+10.3%	+86	+110.4%
健康食品その他	396	+28	+7.9%	+74	+23.0%
キノコ	586	▲ 124	▲17.5%	▲ 42	▲6.8%
医食品パイオ	983	▲ 95	▲8.8%	+31	+3.3%
売上高合計	8,690	+370	+4.5%	▲ 236	▲2.7%

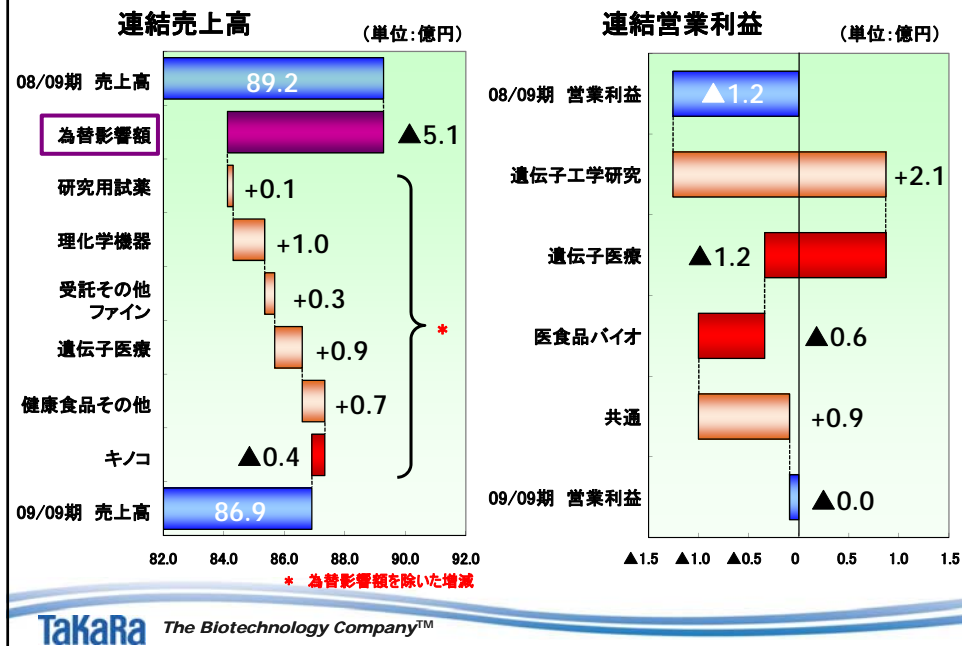
TaKaRa The Biotechnology Company™

10/03期 第2四半期 業績(連結)

	2009年 4-9月	期初予算比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	8,690	+370	+4.5%	▲ 236	▲2.7%
売上原価	4,110	+413	+11.2%	▲198	▲4.6%
売上総利益	4,580	▲ 42	▲0.9%	▲ 38	▲0.8%
販売費及び 一般管理費	4,589	▲ 200	▲4.2%	▲ 154	▲3.3%
営業利益	▲ 9	+157	-	+116	-
経常利益	116	+214	-	+219	-
当期純利益	38	+283	-	+364	-

TaKaRa The Biotechnology Company™

10/03期 第2四半期 売上高・営業利益(連結) <前期比増減>



タカラバイオ(株)単体および子会社 10/03期第2四半期業績概要

(単位:百万円)

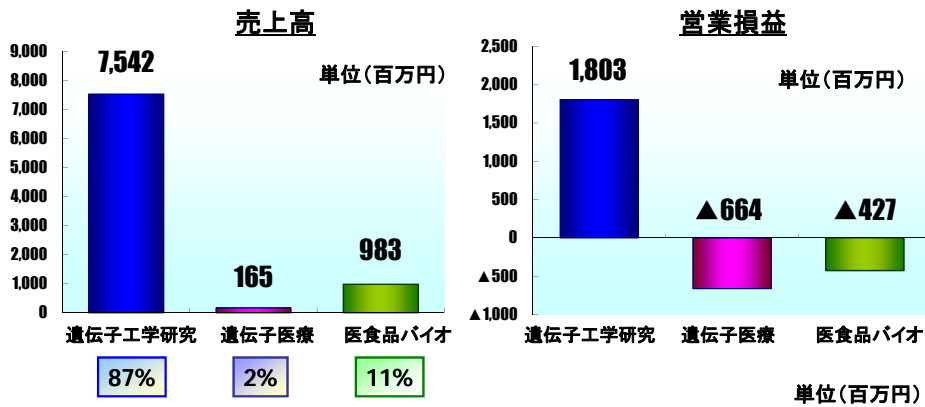
	従業員数**	2008年4-9月実績		2009年4-9月実績	
		売上高	経常利益	売上高	経常利益
タカラバイオ(単体)	350	6,129	131	6,175	▲12
瑞穂農林	15	281	▲136	348	▲16
タカラバイオファーマリングセンター	0	5	▲1	11	1
きのこセンター金武	8	53	5	55	5
Takara Bio Europe*	23	942	114	708	117
宝生物工程(大連)*	480	991	255	1,178	335
宝日医生物技術(北京)*	28	198	37	255	46
Takara Korea Biomedical*	24	287	18	247	50
Clontech Laboratories*	137	2,528	▲115	2,370	▲70
計	1,065				

* 海外子会社は、決算期が1-12月であり、表の数値は各年1-6月実績

** 従業員数は、2009年9月30日現在

Takara The Biotechnology Company™

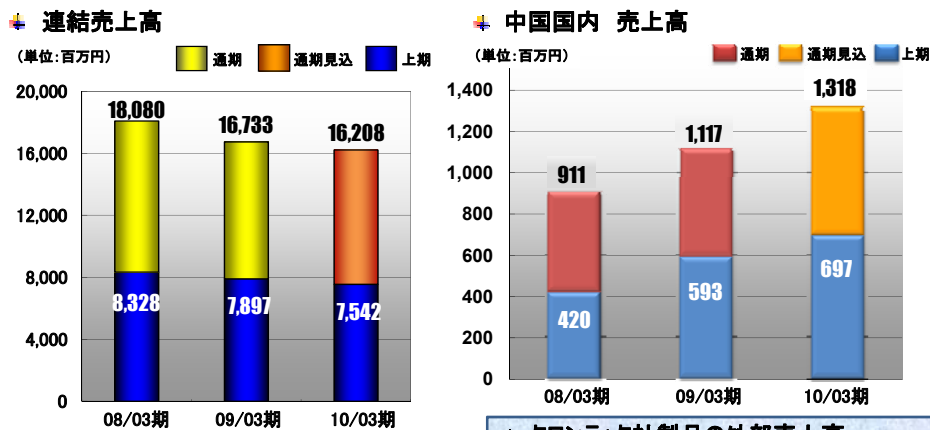
10/03期 第2四半期 セグメント情報(連結)



	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上総利益	4,442	64	73	▲0	4,580
研究開発費	459	640	323	80	1,502

TaKaRa The Biotechnology Company™

セグメント別売上高(連結) 遺伝子工学研究分野



10/3期 第2四半期実績

- ・為替の影響(▲4.5億円)等による研究用試薬の売上減(前期比▲4.3億円)
- ・質量分析装置等の売上増加(前期比+0.7億円)
- ・中国国内売上が拡大(前期比+1.0億円)

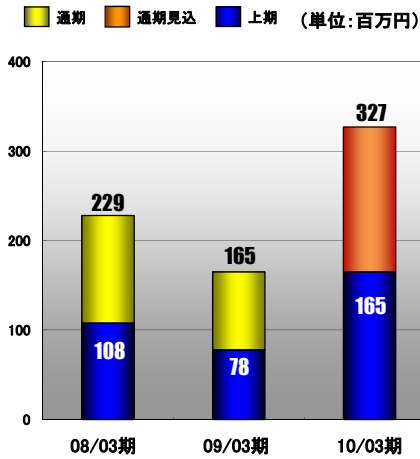
クロンテック社製品の外部売上高

	'08年4-9月実績	'09年4-9月実績
合計	2,519	2,186

為替の影響(▲2.7億円)等を含む売上減▲3.3億円

TaKaRa The Biotechnology Company™

セグメント別売上高(連結) 遺伝子医療分野



10/3期 第2四半期実績

・百万遍クリニックへのサービス
支援開始による売上増加

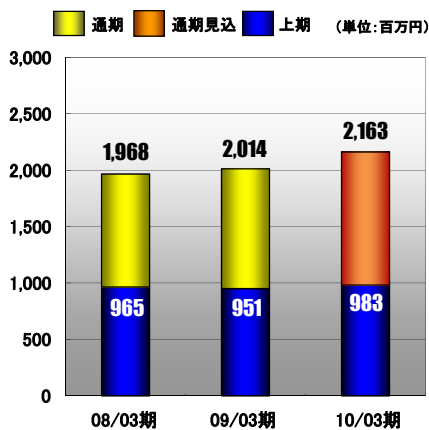
医療法人社団 医聖会 百万遍クリニック

2008年10月より、当社の技術支援のもと、
医療法人社団 医聖会 百万遍クリニック
(京都市)が活性化リンパ球療法の有償
治療を開始。



TaKaRa The Biotechnology Company™

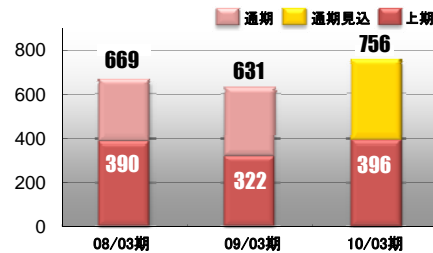
セグメント別売上高(連結) 医食品バイオ分野



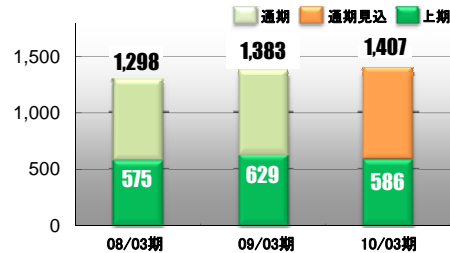
10/3期 第2四半期実績

- ・フコイダン等による健康志向食品その他の
売上増 (前期比+0.7億円)
- ・キノコ事業の売上減 (前期比▲0.4億円)

健康食品その他 (単位:百万円)



キノコ事業 (単位:百万円)



TaKaRa The Biotechnology Company™

2010年3月期 通期修正見込 今後の施策について

10/03期 通期 売上高(連結)見込

	10/03期 見込	期初予算比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
研究用試薬	11,158	+72	+0.7%	▲ 748	▲6.3%
理化学機器	2,357	+188	+8.7%	+180	+8.3%
受託その他	2,692	+205	+8.2%	+43	+1.6%
遺伝子工学研究計	16,208	+466	+3.0%	▲ 525	▲3.1%
遺伝子医療	327	+28	+9.6%	+161	+97.5%
健康食品その他	756	▲41	▲5.2%	+124	+19.8%
キノコ	1,407	▲ 124	▲8.1%	+24	+1.8%
医食品バイオ計	2,163	▲ 165	▲7.1%	+149	+7.4%
売上高合計	18,700	+330	+1.8%	▲ 213	▲1.1%

2009年11月5日修正

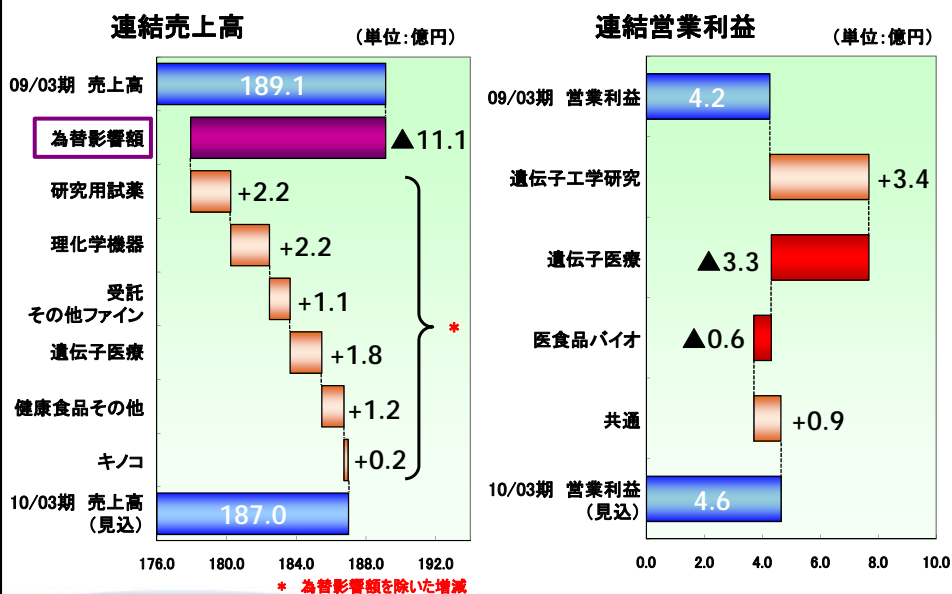
10/03期 通期 業績見込(連結)

	10/03期 通期見込	期初予算比		前期比	
		増減	増減率	増減	増減率
売上高	18,700	+330	+1.8%	▲213	▲1.1%
売上原価	8,711	+632	+7.8%	▲262	▲2.9%
売上総利益	9,988	▲302	▲2.9%	+48	+0.5%
販売費及び 一般管理費	9,523	▲302	▲3.1%	+9	+0.1%
営業利益	465	±0	0.0%	+38	+9.0%
経常利益	700	+100	+16.7%	+348	+99.1%
当期純利益	500	+140	+38.9%	▲142	▲22.2%

2009年11月5日修正

TaKaRa The Biotechnology Company™

10/03期 通期業績 見込<前期比増減>



TaKaRa The Biotechnology Company™

タカラバイオ(株)単体および子会社 10/03期 通期業績見込

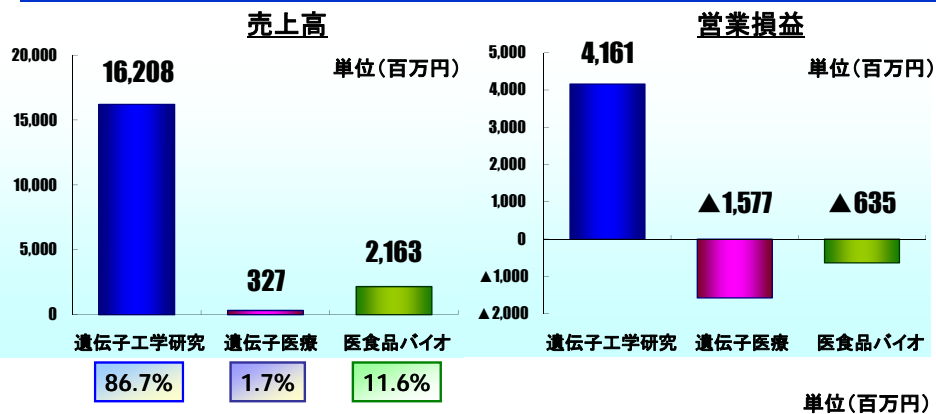
(単位:百万円)

	09/03期 通期実績		10/03期 通期見込	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益
タカラバイオ(単体)	13,244	538	13,502	561
瑞穂農林	587	▲216	730	▲2
タカラバイオファーマーミングセンター	11	▲1	23	1
きのこセンター金武	135	12	133	13
Takara Bio Europe	1,816	214	1,457	212
宝生物工程(大連)	2,048	446	2,360	590
宝日医生物技術(北京)	399	36	477	34
Takara Korea Biomedical	579	87	506	95
Clontech Laboratories	4,845	▲198	4,299	▲264

2009年11月5日修正

Takara The Biotechnology Company™

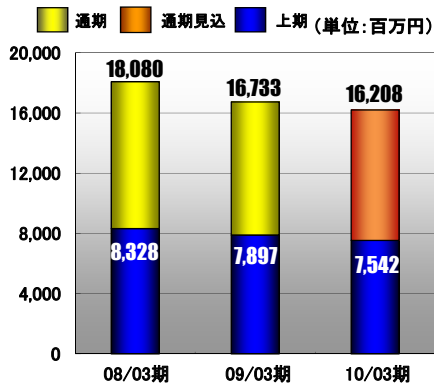
10/03期 通期見込 セグメント情報(連結)



	遺伝子工学研究	遺伝子医療	医食品バイオ	共通	計
売上総利益	9,442	132	413	0	9,988
研究開発費	941	1,598	689	174	3,404

Takara The Biotechnology Company™

遺伝子工学研究分野の現状と今後の施策①



【研究用試薬】

- 新製品投入による国内PCR試薬の売上の下げ止まり
- リアルタイムPCR試薬のさらなる売上拡大



クローンテック新製品 【10/03期 新製品例】

- ・Xfect™ トランスフェクション試薬
低毒性・高効率にプラスミドDNAを細胞に導入
- ・Lenti-X™ Concentrator
簡便にレンチウイルスベクターを濃縮

タカラバイオ新製品

【10/03期 新製品例】

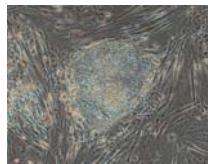
- ・pCold® ProS2 DNA
タンパク質の可溶化発現と効率的なタグの分離
- ・CellAmp® Whole Transcriptome Amplification Kit
1個の細胞から鋳型cDNAが増幅
- ・MightyAmp™ DNA Polymerase
クールドサンプルからも強力に増幅
- ・SYBR Premix Ex Taq™ GC(Perfect Real Time)
GCリッチなターゲットのリアルタイムPCR解析

Takara The Biotechnology Company™

遺伝子工学研究分野の現状と今後の施策②

“Molecular Biology” (分子生物学) から
“Advanced Cell Biology” (細胞生物学) へ

- iPS細胞関連製品を含む細胞工学分野に注力



iPS細胞

- エピジェネティクス* 関連製品の開発
以下の製品を10/03期中に発売予定

クローンテック新製品

- ・EpiXplore™ Methylated DNA Enrichment Kit (仮称)
メチル化DNA濃縮キット

タカラバイオ新製品

- ・EpiScope™ Kit (仮称)
PCRを用いたメチル化状態解析キット

クローンテック社製品の外部売上高 (単位: 百万円)

	09/03期 通期実績	10/03期 通期見込
合計	5,093	4,373

10/03期 見込

為替の影響(▲5.7億円)等による売上減▲7.1億円



Xfect™ トランスフェクション試薬

*エピジェネティクスとは

DNA配列の変化を伴わず、後天的な修飾により
遺伝子発現が制御される仕組み

Takara The Biotechnology Company™

遺伝子工学研究分野の現状と今後の施策③

「一般研究支援」から
「医学研究支援」、「産業支援」へ

【理化学機器】

○PCR、リアルタイムPCR装置を食中毒菌の微生物検査等のアプリケーションフィールドへ拡販

【受託】

○サンガーシーケンス、DNAマイクロアレイ解析
他社との競合による単価の下落

○高速シーケンス
装置性能の大幅な向上によるニーズの拡大

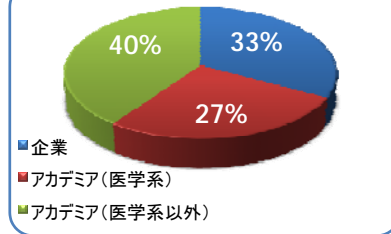
- ① 医学系研究機関
- ② 食品企業(有用微生物)
- ③ 製薬企業(医薬品製造用微生物・細胞)

○高速シーケンスと次世代データマイニング
メニューの強化

○エピジェネティクス関連受託の開始

○iPS細胞関連受託の開始

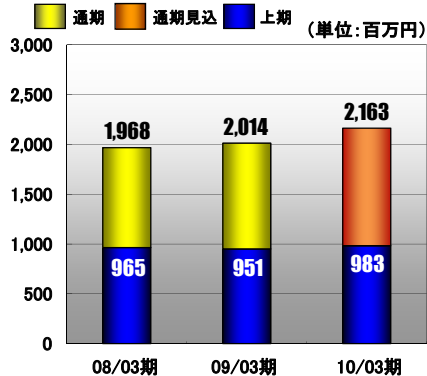
10/03期上期 国内受託サービス売上実績



遺伝子工学研究事業のエンジン

TaKaRa The Biotechnology Company™

医食品バイオ分野の現状と今後の施策



【健康食品事業】

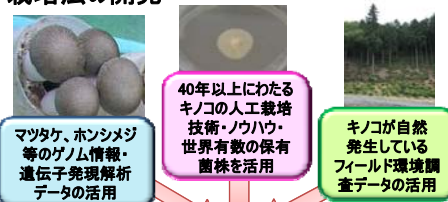
- 販売促進学術データの収集と、新規機能性素材の開発
- 宝ヘルスクエア社による通信販売と、食品メーカー等への機能性素材販売

ガゴメ昆布「フコイダン」、寒天「アガロオリゴ糖」、明日葉「カルコン」、ヤムイモ「ジオスゲニン」、ボタンボウフウ「イソサミン」

【キノコ事業】

- 新技術導入による品質向上・コストダウン
- 自社販売体制の構築(地産地消)
- マツタケなどの高付加価値キノコの人工栽培法の開発

売上(連結)	09/03期 通期実績	10/03期 通期 期初見込	10/03期 通期 修正見込
ハタケシメジ	5.8億円	7.1億円	6.2億円
ホンシメジ	1.6億円	2.2億円	1.8億円
ブナシメジ	1.3億円	1.2億円	1.3億円

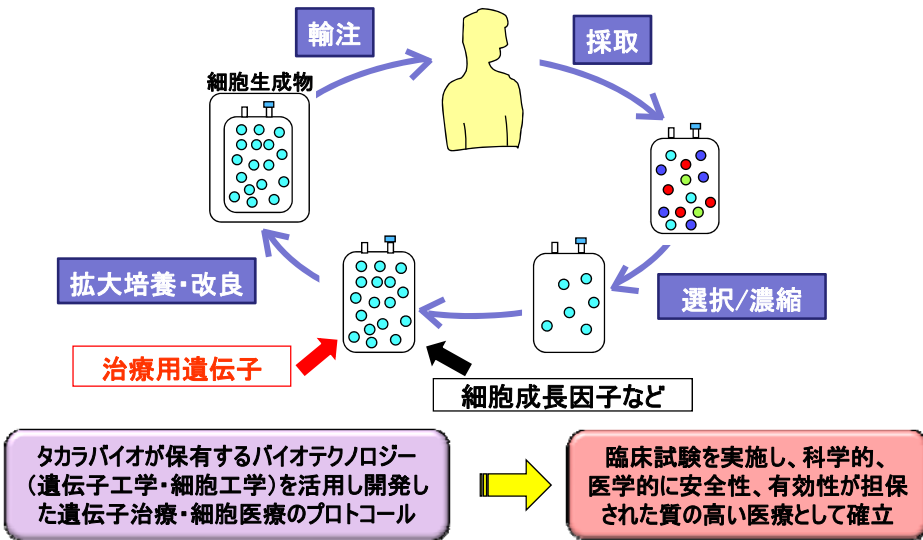


子実体の発生を目指す

TaKaRa The Biotechnology Company™

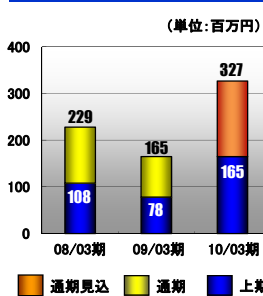
遺伝子医療分野の現状と今後の施策①

遺伝子治療・細胞医療のプロトコル



Takara The Biotechnology Company™

遺伝子医療分野の現状と今後の施策②



レトロネクチン®(GMPグレード)

	対象疾患	提携先	現状・今後
HSV-TK遺伝子治療 (ドナーリンパ球輸注療法)(治験)	再発 白血病	国立がん センター 中央病院	・2008年10月に治験開始 ・2011年3月に治験終了見込 ・リクルート促進体制を構築中
HSV-TK遺伝子治療 (ハプロタイプ一致造血 幹細胞移植後のドナー リンパ球追加輸注法) (臨床研究)	高リスク 造血器 悪性腫瘍	国立がん センター 中央病院	・2009年末に臨床研究開始予定 ・2012年度後半に終了予定
TCR遺伝子治療 (臨床研究)	食道がん	三重大学 医学部	・2009年8月に臨床研究を開始 ・2012年夏に終了予定
MazF遺伝子治療	エイズ	医薬基盤研究所	・動物実験を実施中 ・米国での臨床開発を準備中
がん細胞免疫療法 (臨床研究)	食道がん、 卵巣がん等	三重大学医学部	・2008年3月に臨床研究を開始 ・2010年秋に終了予定
がん細胞免疫療法 (臨床研究)	消化器がん、 肺がん	京都府立医科 大学	・2009年4月より臨床研究を開始 ・2010年春に終了予定
がん細胞免疫療法	難治性がん 肝細胞がん 腎がん	天津医科大学 (臨床研究) 中山大學 (臨床研究) 中国医学科学院 がん病院	・有償治療の許可判断の管轄が SFDAから衛生部に移管 ・申請手続き等が公開され次第、 臨床研究の申請(がん病院)や、 有償治療の申請(天津医科大学、 中山大學)等を行う。

Takara The Biotechnology Company™

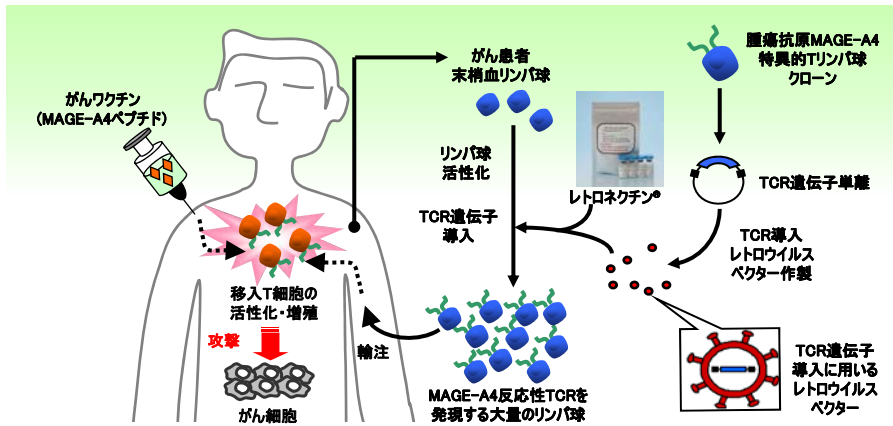
TCR遺伝子治療とペプチドワクチンによる複合的免疫療法

TCR遺伝子治療(臨床研究)

対象疾患: 食道がん
 症例数: 9例予定
 治療方法: MAGE-A4抗原ペプチド特異的TCR(HLA-A24拘束性)遺伝子を導入した自己リンパ球の輸注およびMAGE-A4抗原ペプチドワクチンの投与

NEDO橋渡し事業に採択

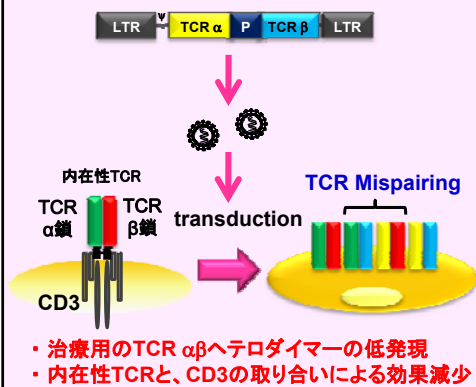
先端的な医療を実用化・産業化し、国民への迅速な提供に繋げるため、スーパー特区で採択されている課題を対象に、文部科学省、経済産業省、およびNEDO技術開発機構が連携して実施する事業



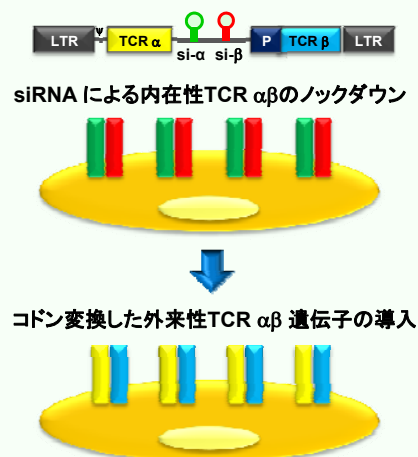
TaKaRa The Biotechnology Company™

次世代の内在性TCR発現制御型レトロウイルスベクター

従来法の問題点



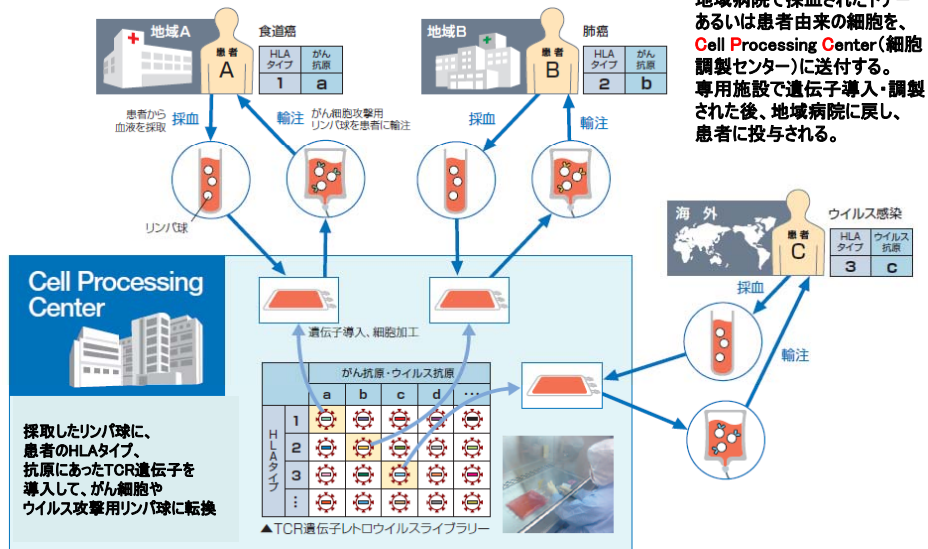
次世代ベクター使用時



次世代ベクターの詳細に関しては、第15回日本遺伝子治療学会学術集会(09年7月)、24th Annual Meeting of International Society for Biological Therapy of Cancer(09年10月)等で、成果発表済み。

TaKaRa The Biotechnology Company™

遺伝子治療 将来像：誰でも何処でも受けられる遺伝子治療



Takara The Biotechnology Company™

タカラバイオ株式会社

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

お問合せ先：バイオインダストリー部
E-mail: bio-ir@takara-bio.co.jp

Takara The Biotechnology Company™